

公開講座「動物の生命（いのち）と人との係わり」実施報告

鹿児島大学農学部獣医学科 高瀬 公三

農学部獣医学科では昨年、主に高校生とその教員を対象に、公開講座「動物の生命（いのち）と人との係わり」を開催しました。その結果、多くの高校生と先生方に参加していただくことができました。獣医学科としては初めての公開講座でしたが、外部講師の方々の協力もあり、参加者の皆様にはとても喜んでもらえたようです。以下に、その実施概要を報告いたします。

講座開設の主旨

講座開設の主旨は、参加者募集の際に準備しました案内書の文章をそのまま掲載することで、説明に代えさせていただきます。

「この地球上には長い歴史の中で、数多くの人、動物および植物が生命を繋いできました。永久の未来も、同様に多くの生命が受け継がれていくことでしょう。しかし残念ながら途中で命が絶えてしまった生物種もまた多いのです。科学の発展は生命を救う一方で、破滅も招いています。この地球という限られた空間の中で、それぞれの生命がこれ以上絶えることのないようにしなければなりません。

私たち人間は、多くの生物の生命の犠牲によって生かされてきました。獣医学と係わってきた私たちも、動物達の犠牲無くして人間社会の営みのないことを直接に感じています。だからこそ、“動物の生命（いのち）と人とのより良い関係”を築いていくことが大切ではないでしょうか。

本講座は、“動物の生命（いのち）と人との望ましい係わり”を、多くの参加者と一緒に考えたいとの思いから企画されました。講義の中から、動物たちのことを考えるきっかけや話題がひとつでも見つければ幸いです。講師には獣医学科の教員を中心に、学外の獣医師なども含め、犬や猫などの伴侶動物、牛・馬・豚・鶏などの家畜・家禽、養殖魚、動物園や水族館動物、野生動物、食品（乳肉卵）などに深く関ってきた経験豊富な方々を予定しました。（事前配布の案内文書より）

公開講座受講者

本講座には多くの方々に参加していただきたいの思いはあったのですが、企画の段階で、思い切って中学生や高校生を対象にしてはどうか？との意見が出され、スタッフ一同の賛同が得られたところから、そのように決定しました。また、生徒たちが参加しやすいことも考慮し、その先生方も参加可能とすることにしました。県内の中学校および高等学校には、県や市の教育委員会を通じて開催案内および参加者募集を呼びかけてもらいました。その結果、16校113名の生徒および先生方に参加希望登録をいただきました。参加者には名刺大の「参加証」を配布することにしましたが、これは、もし当人が都合で参加できなくなった場合には友達が代理で「参加証」を持参することで受講できるシステムにしたいとの思いからです。

開催日および時間

計画当初、開催日・時間は土曜日の午前と考えていたのですが、学校の諸行事や高校生たちが参加しやすい時間帯を考慮し、土曜日の午後3:00からと決定いたしました。また、12回の開催でしたので、月2回のペースで6月から12月までの期間を設定しました（ただし、8月は開催せず）。この約半年に及ぶ開催期間が良かったのか、もっと短期間に終了するほうが良かったのか、判断に迷ったところです。スタッフとしては長丁場になってしまい、気疲れした部分はややありました。ただ、後述するように、参加者の意見ではこの期間に対する不満はなく、むしろもっと続いてほしかったとの意見もありました。

講義内容および講師

先に述べました開講主旨のように、幅広く「動物の生命（いのち）と人とのより良い関係」を考えたいとの思いから、また対象が主に中・高校生であるところから、いろんな方々からいろんな講義をしていただくように計画し、内容を決定しました（表1）。講師の方々には、事前にレジメ（A

41枚程度)を作成していただき、前の開催日の際に次回の講義レジメを参加者に配布することにしました。講義は液晶プロジェクターを用いながら、質疑も含めて90分間です。多忙な中を、しかも土曜日に、ボランティアとして参加していただきました講師の方々には、とても感謝しています。

参加者数および受講後の反応

毎回多くの受講生が参加し、全12回の延べ参加者数は510名でした(写真1-3)。最終回の講義終了後に簡単なアンケートを提出してもらいましたが、これには41名が回答してくれました。その中で書いていただいた意見の全てを図に示しましたが、開催側としては嬉しい内容ばかりでした(図1)。開催して良かったと思います。

全12回を全て受講された方が3名いましたが、この3名を含め、熱心に参加していただいた18名の皆様(9回

以上受講)には、修了証を差し上げました。

今後の予定

今日、家畜、愛玩動物あるいは野生動物たちは、それぞれの分野で異なった形であっても、人間社会と大きく関わっています。その昔、恐らく動物の多くは狩猟の対象でしかなかったはずですが、しかし、現在では私たちの心の拠りどころ、癒しの場所としても、不可欠の存在になっている動物もいます。反面、私たちが動物たちのためにしなければならぬことも沢山あります。

この公開講座を通じて多くの皆さんと、動物と人との係わりを考えたいと思います。ことしも開催する予定です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

(公開講座スタッフ：宮本 篤、川崎安亮、三好宣彰、田原口智士、藤木 誠および筆者)

表1. 公開講座の開催日、講師、講義内容

| 順 | 開催日 (土曜) | 氏名 | 所属 | 講義内容 |
|----|-------------|-------|-------------|----------------------|
| 1 | 6月4日 | 坂本 紘 | 農学部 教授 | 人間と動物の絆 |
| 2 | 18日 | 阿久沢正夫 | 農学部 教授 | 日本に棲んでいるヤマネコを絶滅から護ろう |
| 3 | 7月2日 | 川崎 安亮 | 農学部 助教授 | 人の視線が気になる動物たち：犬猫の行動学 |
| 4 | 16日 | 山本 淳 | 水産学部 教授 | 養殖魚の病気 |
| 5 | 8月6日 | 安田 宣紘 | 農学部 教授 | 動物に寄生する虫たち |
| 6 | 20日 | 岡 達三 | 農学部 教授 | ビタミンと健康 |
| 7 | 10月8日 | 大石 明広 | 農学部 助教授 | 伴侶動物(ペット)の健康診断 |
| 8 | 22日 | 大塚 美加 | かごしま水族館 獣医師 | 水族館での獣医師のしごと |
| 9 | 11月5日 | 桜井 普子 | 平川動物公園 獣医師 | 動物園での獣医師のしごと |
| 10 | 19日 | 高瀬 公三 | 農学部 教授 | 動物たちをワクチンでまもる |
| 11 | 12月3日 | 岡本 嘉六 | 農学部 教授 | 食の安全：生命(いのち)をいただくマナー |
| 12 | 17日 | 鶴田 勉 | 鶴田動物病院 院長 | 動物との別れ(生と死) |

写真1： 受講生の受付



毎回、受付では「参加証」の提示をお願いし、講義の要旨（レジメ）を配布しました。

写真2： 記念撮影



第1回終了時に、受講生たちと記念写真を撮りました。

写真3： 講義中の様子



動物病院2階の講義室は冷暖房完備で、良い環境でした。

図1 受講生からのご意見（全て掲載）

様々なお仕事をやさして、私は感動しました。水族館 にはお聞きに接しているとお話しをされた時、生き物の大切さを伝える事は本当に大事な事だと思います。この講座を通じて、動物の大切さを是非多くの人に学習の場と知れた。故を思えば、何以上講座を聴きたいです。

午前の補習と重ならなくて
土曜日、それが良かった。

動物物について色々な言葉が聞けてすごくよかったです。ありがとうございました。

動物について、いろんな知識を知ることができて良かった。
長い期間だ、にら、たくさんのお話を学べた。
とても勉強になった。楽しかった。
ありがとうございました!!!

毎回 講座を受講するのを楽しみにしていました。私も高校生ながら専門的なお話を聞ける機会が普段 ありません。
この講座から たくさん学びました。大学に対して大きな期待をさせてもらいました。ありがとうございました。

も、と濃くて良い

参加者が無いとは思ってました。

中高生 高2まで ホンキで 敬儀を目指している。このお話を聞いて 高2まで参加してくるの 公開講座生 ほんまに良いなって、高2まで来て 大学1年生までこの講座を受けたい。ほんまに ありがとうございました。

月に1回くらいで、半年もお願いして、生活が 徐々に変わって来ているのが嬉しい。
ありがとうございました。

最初は 公開講座に参加するが、迷っていたけど、今、参加して良かったと思う。
講義は、難しいものもあったけど、貴重な体験ができたので、すごくいいものだったと思う。

難しい内容の講義もありましたが、全て、興味深く、新しい発見をすることができ、良い経験になりました。

講義ごさいだ、これ、とても勉強になり、また 講座を受けたいと思えました。また動物物の公開講座をしていただきたい!!!
おねがいします。

面白い講義内容でとても良かったです!!
来年も是非公開講座をしていただきたい!!
動物物について、新しい発見や、貴重な機会を聞かせていただいた。
ありがとうございました。

専門的すぎて、私には分からない所もありましたが、すごく毎回の講義楽しかったです。まだまだ色々な事を聞きたいと思えました。

とても面白い講義でした。
是非、参加したいと思えます。

ふたん、聞けな、お話し生活と 専門的の分野から、いろいろ聞くことができて、とても楽しく、時間短縮。ありがとうございました。

色々な先生方の話しが聞けて、ためになりました。
今回、出席できず申し訳ないが、又機会があったら参加したいです。

大の動物好きの、この講座を受けられた、とても大変、幸せに感じました。各所動物飼育管理士の経験をうけて、毎回 真剣に 受講して、お話しを聞ける機会、ありがとうございます。お話し内容の講義も、とてもいい、恐らく、お話しで下り、お話し

来年も是非公開講座をして欲しいと思います。

とても勉強になりました。毎回の講座は、毎回全部は聞けなかったのが、とても残念です。動物のこともっとも勉強したいと思えます。

もう少し、楽しく見聞かたのた
してほしい、
動画を入れるなど。

ためになる話を聞けてよかったです。公開講座という企画は、良いものだったと思います。

中高生に限らず、対象を広げて参加できるといいと思います。
(素晴らしい内容でしたので)

次回も講座を楽しみにしています。

全部の講義に出席が出来なかった事がとても残念でした。
講義も、学校へもより、勉強 楽しかった。とても勉強になる事ばかりでした。